

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2010.5
201

皆様の御陰で200号達成

「のメッセージ」を1993年9月から始め、先月(2010年4月号)で200号を書き終えました。長いよつな短いよつな16年間でした。

「のメッセージ」を書き始めたきっかけは、それまで毎週月曜日に朝礼をやっておりました。よくよく考えてみるとその場所にみえる社員の人は昼勤の人のみで、時差や夜勤の人、そして別工場にいる人には私の話など届いていないわけです。まだビデオやテレビ会議など普及していなかった時代です。

尚且つ自分(社長)のしゃべった言葉は消えてしまう。だから仕事の都合で朝礼に参加できない人は私の話を聞けていないわけです。

こんなことで朝礼をやる意味があるのか、単なる自己満足だけではないのかと思いが始めました。

そんな時ある新聞のコラム欄に某会社の会長さんが毎月社員の人にメッセージを書いていると言う記事が載っていました。1ヶ月、2ヶ月と悩んだあけく、出張などの思い出話でもいいや!とノルフ干の学会に参加した帰りから書く事にしました。

社内の幹部の人たちからは社長は文章が決して上手じゃないし1ヶ月に一度となるとすぐに書かなくてはいけないからやめた方がいいよと忠告を受けました。

確かに「て」を「は」は間違えるし、漢字は書けないし・・・でしたが優秀な歴代の総務の人がフォロイしてくださりここまでになりました。本当に感謝いたします。自分一人ではできないことを痛感し感謝いたします。

また、菜根譚を一詩ずつ付けさせていただいたのは、号からです。

自分のつまらない文章だけでは皆さんに申し訳ないという思いから、当時米津小学校のPTA会長時代に校長先生から紹介いただいた菜

根譚でした。

この菜根譚は前集222詩、後集135詩からなっており、全集357詩が終わるのは2022年、私がちよつと70才の時という計算になります。

その2022年でこの筆を置く事を初めから心に決めております。

それまでは頑張りたと思いますので宜しくお願いいたします。

菜根譚

「人よく菜根を咬みえは、即ち百事なすべし」

菜根は硬くて筋が多い。これをかみしめてこそ、ものの眞の味わいがわかる。

仕事の教え方(技術の伝承)

「仕事の教え方」の研修会で学んだことですが、日頃私どもが間違いやすいことでした。まず、当たり前と思っている事が伝承されていない事を痛感する昨今です。

例えば、お掃除の仕方(ほうぎの使い方、雑巾の使い方・・・)や仕事の仕方(チップ

交換・刃具交換・・・)を基礎から教えなければならぬと言つてことです。

大切なのは『教える』という所がポイントです。それは“伝達ゲーム”をやつて感じたことですが、自分の言い方ではほとんど伝わらないという事実です。

つまり、相手の立場に立つて考えなければならぬことです。

つまり99%教える方(言い手)の話方に問題があるから伝わらないし伝えられな
いと言つてことです。

私の実験からしても「言語」が違つくらいに伝わらない。話し手に問題がある事を思い
知りました。私自身皆様にお願ひすることは
かりで、言い方に反省しきりです。気を付け
ます。

宜しくお願ひいたします。